

『戸田新細菌学』改訂34版 正誤表

いつも小社出版物をご利用いただき誠にありがとうございます。
「戸田新細菌学」(改訂34版1刷)に以下の誤りがございました。深くお詫びするとともにここに訂正いたします。

該当箇所	誤	正
p.247 図Ⅲ-2-2 図下	単染色 体	単染色
p.357 右段 9 行目	そこでWHOでは、この菌による感染をコレラに準じた取り扱いとすることになった が 、日本においては要監視ではあるものの、今のところはコレラ扱いにはせず 今後 を見守ることになっている。1994年にはO139の流行はいったん下火になり、流行地でもO1とO139がほぼ半々に見られるようになった。	そこでWHOでは、この菌による感染をコレラに準じた取り扱いとすることになった。日本においては 当初 、要監視としてコレラ扱いにはせず見守ることになっていた が 、 今ではコレラとして認められている 。1994年にはO139の流行はいったん下火になり、流行地でもO1とO139がほぼ半々に見られるようになった。
p.485 左段 下から 10 行目	ヒト顆粒球エールリキア症 human granulocytotropic ehrlichiosis (HGE)	ヒト顆粒球 アナプラズマ 症 human granulocytotropic anaplasmosis (HGA)
p.485 左段 下から 6 行目	この疾患は ヒトアナプラズマ症 human anaplasmosis とも呼ばれ 、アメリカおよびヨーロッパで報告されている。	この疾患はアメリカおよびヨーロッパで報告されている。
p.497 右段 下から 3 行目	ウイルスの中で最も大きなポックスウイルスは	ウイルスの中で最も大きな もの は
p.507 左段 9 行目	3. 動 p 物でのウイルス増殖	3. 動物でのウイルス増殖
p.616 右段 16 行目	7,000~8,800 bp	7,000~8,800 塩基
p.616 右段 18 行目	600~1,300 bp	600~1,300 塩基
p.620 図V-6-4 図下 2 行目	約 750 bp	約 750 塩基
p.629 右段 8 行目	約 70 bp	約 70 塩基
p.636 右段 10 行目	約 100 bp と 400~700 bp	約 100 塩基 と 400~700 塩基
p.695 右段 10 行目	MIP-1α (macrophage inflammatory protein-1α)	MIP-1α (macrophage inflammatory protein-1α)
p.817 左段 4 行目	スーパーオキシドジムスターゼ	スーパーオキシドジ ス ムターゼ
p.860 左段 下から 4 行目	形質細胞様DC pasmacytoid DC	形質細胞様DC p lasmacytoid DC
p.880 右段 6 行目	活性化誘導性シスチジンアミナーゼ ac itivation-induced cystidine deamainase	活性化誘導性シスチジンアミナーゼ ac tivation- in duced cystidine deaminase
p.920 右段 9 行目	多発硬化症	多発 性 硬化症

青字は削除、赤字は変更もしくは追加を表しています。

(2015 年5月12 日時点)